

第3号様式（第15条、第17条、第18条関係）

## 事業者排出量削減計画書

		<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 変更					
(宛先) 京都府知事		令和3年2月15日					
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 兵庫県神戸市灘区都通3丁目3番16号		氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名) ケンコーマヨネーズ株式会社 代表取締役社長 炭井 孝志 TEL03-5941-8688					
主たる業種	ソーズ製造業	細分類番号	0   9   4   3				
事業者の区分	京都府地球温暖化対策条例施行規則	<input checked="" type="checkbox"/> 第12条第1項第1号 <input type="checkbox"/> 第12条第1項第2号又は第3号 <input type="checkbox"/> 第12条第1項第4号					
計画期間	令和2年4月から令和5年3月まで						
基本方針	工場におけるエネルギーの維持管理を確保するため「エネルギー使用合理化に関する法律」に基づき、地球温暖化防止を図る。						
計画を推進するための体制	環境管理推進委員会を設置し、省エネ活動の推進を図る						
温室効果ガスの排出の実績及び削減の目標	温室効果ガスの排出の量	基準年度 (29~1)年度	第1年度 (2)年度	第2年度 (3)年度	第3年度 (4)年度	増減率	
	事業活動に伴う排出の量	12,163.4 トン	11,510.2 トン	12,000.2 トン	11,803.3 トン	-3.2 パーセント	
	評価の対象となる排出の量	11,912.5 トン	11,510.2 トン	12,000.2 トン	11,803.3 トン	-1.2 パーセント	
目標の根拠	令和2年度は、コロナ禍で生産量が減少しており、11月段階で試算。生産数量の減少の影響が大きく、3カ年で基準年度の数値へ回復させる。						
原単位当たりの温室効果ガス排出量等	事業の用に供する建築物の用途	原単位の指標	基準年度 (1)年度	第1年度 (2)年度	第2年度 (3)年度	第3年度 (4)年度	増減率
	工場	事業活動に伴う排出の量 (生産量×1/100)	41.68	46.79	43.32	40.42	4.39 パーセント
		事業活動に伴う排出の量 ( )					パーセント
原単位の指標及び目標の根拠	令和2年度は、コロナ禍で生産量が減少しており、11月段階での着地見込みより試算。						
重点的に実施する取組の実施計画	基準年度 (1)年度	第1年度 (2)年度	第2年度 (3)年度	第3年度 (4)年度	備考		
	100.0 パーセント	100.0 パーセント	100.0 パーセント	100.0 パーセント			
具体的な取組及び措置の内容	(2)年度	空調等の稼働時間の見直しによる電力の削減					
	(3)年度	機器の適正な運転管理に努める					
	(4)年度	機器の適正な運転管理に努める					
通勤における自己の自動車等を使用することを控えさせるために実施しようとする措置	措置の内容	マイカー通勤の他に、合理的な手段がないため、措置は実施していない。ただし「エコドライブ10のすすめ」及びアイドリングストップを推進しています。					
	上記の措置を採用する理由	マイカー通勤の禁止が出来ないため、啓蒙活動を実施致します。					
森林の保全及び整備、再生可能エネルギーの利用その他の地球温暖化対策により削減する量	区分	第1年度 (2)年度	第2年度 (3)年度	第3年度 (4)年度	備考		
	森林の保全及び整備によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
	府内産の木材の利用によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
	再生可能エネルギーを利用した電力又は熱の供給によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
	グリーン電力証書等の購入によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
	温室効果ガス排出量の削減効果分又は温室効果ガスの吸収効果分の購入によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
合計	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン				
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	舞鶴市主催「川と海を美しくする会」の清掃活動に毎年参加しています。						
特記事項							

注1 該当する□には、レ印を記入してください。特定事業者以外で自主参加される事業者の方は、レ印の記入は不要です。

注2 「細分類番号」とは、統計法(平成19年法律第53号)第2条第9項に規定する統計基準である日本標準産業分類の細分類番号をいいます。

注3 「基準年度」とは、計画期間の前年度又は計画期間の前の3年度の事業活動に伴う排出の量又は原単位の数値の平均をいいます。

注4 「増減率」とは、基準年度と比較した計画期間の平均の増加又は減少の割合をいいます。

注5 「重点的に実施する取組の実施計画」には、温室効果ガスの排出の量を削減するために重点的に実施する取組の実施率を地球温暖化対策指針で定める方法により算出して記入し、その算出の根拠となる資料を添付してください。